



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月31日

上場会社名 日本ギア工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6356 URL <https://www.nippon-gear.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹 TEL 03-6363-3170
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,060	△0.4	495	30.9	521	31.2	351	30.6
2026年3月期第1四半期	2,069	△2.0	378	△27.6	397	△26.9	269	△27.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	24.67	—
2026年3月期第1四半期	18.89	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	17,217	14,941	86.8	1,049.50
2026年3月期	17,201	14,481	84.2	1,017.15

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 14,941百万円 2026年3月期 14,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,100	△2.7	900	13.7	930	13.8	640	15.3	44.95
通期	10,000	1.2	2,500	1.7	2,560	2.1	1,760	0.5	123.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	14,280,000株	2026年3月期	14,280,000株
2027年3月期1Q	43,127株	2026年3月期	43,077株
2027年3月期1Q	14,236,898株	2026年3月期1Q	14,237,222株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直しなどにより景気は緩やかな回復傾向が継続した一方で、イラン情勢の悪化によって原油価格が大幅に上昇したことを反映し、資源価格の高騰や物価高に加え円安の影響などにより物価上昇が進展しました。また、イスラエルを巡る緊張や地政学的リスク、中国経済の停滞、長期化するロシア・ウクライナ紛争等に加え、米国による関税措置の見直しにより、世界経済の先行きに不確実性がさらに高まる状況となり、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社のセグメント別受注状況は、前年同期と比較し、歯車及び歯車装置事業では、ジャッキ、歯車の受注は減少しましたが、バルブ・アクチュエータ、その他増減速機の受注は増加いたしました。工事業においては、受注は増加いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の受注高は、38億54百万円（前年同期比12.1%増）、売上高は、20億60百万円（前年同期比0.4%減）となりました。また、当第1四半期会計期間末の受注残高は、74億97百万円（前事業年度末比31.5%増）となりました。

損益面につきましては、売上原価が10億56百万円（前年同期比1.4%減）、販売費及び一般管理費は1億10百万円減少し5億7百万円（前年同期比17.9%減）となりました。これは主に、前期において前払年金費用に係る数理計算上の差異43百万円（不利差異）を、当期につきましては31百万円（有利差異）をそれぞれ第1四半期で一括計上したことにより合計75百万円減少したことによるものであります。これにより、営業利益は4億95百万円（前年同期比30.9%増）、経常利益は5億21百万円（前年同期比31.2%増）、四半期純利益は3億51百万円（前年同期比30.6%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

①歯車及び歯車装置事業

a. バルブ・アクチュエータ

受注高は、原子力発電所、化学向けが増加したことにより前年同期比16.6%増加いたしました。売上高につきましては、火力発電所、原子力発電所向けが増加したことにより前年同期比3.9%増加いたしました。

b. ジャッキ

受注高は、鉄鋼、産業機械用が減少したことにより、前年同期比3.8%減少いたしました。売上高につきましては、火力発電所、産業機械用が減少したことにより、前年同期比13.6%減少いたしました。

c. その他増減速機

受注高は、石油・ガス、空港設備向けが増加したことにより、前年同期比2.8%増加いたしました。売上高につきましては、石油・ガス、産業機械用が増加したことにより、前年同期比5.6%増加いたしました。

d. 歯車

受注高は、鉄道船舶用、産業機械用が減少したことにより、前年同期比7.6%減少いたしました。売上高につきましては、鉄道船舶用、産業機械用が減少したことにより、前年同期比45.8%減少いたしました。

②工事業

受注高は火力発電所、原子力発電所向けが増加したことにより、前年同期比16.4%増加いたしました。売上高につきましては、火力発電所、石油・ガス向けが増加したことにより、前年同期比8.5%増加いたしました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ2億71百万円減少し117億19百万円となりました。これは主に現金及び預金が7億3百万円、棚卸資産が1億59百万円増加いたしました。また、売上債権等が11億18百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ2億87百万円増加し54億97百万円となりました。これは主に有形固定資産が35百万円減少しましたが、投資有価証券が2億86百万円、前払年金費用が39百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末と比べ5億23百万円減少し14億92百万円となりました。これは主に未払法人税等が3億57百万円、賞与引当金が94百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末と比べ79百万円増加し7億83百万円となりました。

純資産は前事業年度末に比べ4億60百万円増加し149億41百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億65百万円、その他有価証券評価差額金が1億94百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,125,746	6,829,400
受取手形、売掛金及び契約資産	2,455,437	1,823,128
電子記録債権	1,377,952	891,585
商品及び製品	199,750	251,473
仕掛品	313,273	295,216
原材料及び貯蔵品	1,420,441	1,546,477
その他	98,349	82,459
流動資産合計	11,990,951	11,719,741
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	1,153,368	1,118,094
有形固定資産合計	2,166,659	2,131,386
無形固定資産	137,296	135,514
投資その他の資産		
投資有価証券	1,478,687	1,765,445
前払年金費用	1,047,061	1,086,213
長期預金	300,000	300,000
その他	84,159	83,029
貸倒引当金	△3,687	△3,652
投資その他の資産合計	2,906,220	3,231,035
固定資産合計	5,210,176	5,497,936
資産合計	17,201,128	17,217,678
負債の部		
流動負債		
買掛金	276,556	352,154
電子記録債務	164,019	83,089
1年内返済予定の長期借入金	37,620	37,620
未払法人税等	543,281	185,861
賞与引当金	187,787	93,737
契約負債	11,582	110,527
圧縮未決算特別勘定	146,780	146,780
その他	648,958	482,898
流動負債合計	2,016,585	1,492,668
固定負債		
長期借入金	34,555	25,150
退職給付引当金	1,000	883
資産除去債務	167,596	167,644
その他	500,238	589,671
固定負債合計	703,389	783,349
負債合計	2,719,975	2,276,017

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	844,542	844,542
利益剰余金	11,472,338	11,738,169
自己株式	△16,001	△16,085
株主資本合計	13,689,678	13,955,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	791,474	986,234
評価・換算差額等合計	791,474	986,234
純資産合計	14,481,153	14,941,660
負債純資産合計	17,201,128	17,217,678

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,069,178	2,060,259
売上原価	1,071,823	1,056,392
売上総利益	997,354	1,003,867
販売費及び一般管理費	618,435	507,989
営業利益	378,919	495,877
営業外収益		
受取利息	574	4,924
受取配当金	15,289	17,965
出向者負担金	53	-
為替差益	1,582	-
その他	1,094	3,094
営業外収益合計	18,594	25,984
営業外費用		
支払利息	206	205
支払手数料	75	-
為替差損	-	479
その他	15	148
営業外費用合計	296	833
経常利益	397,217	521,028
特別利益		
固定資産売却益	-	2,499
特別利益合計	-	2,499
税引前四半期純利益	397,217	523,528
法人税等	128,160	172,275
四半期純利益	269,057	351,253

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	1,581,462	311,650	1,893,113
一定の期間にわたり移転される財	—	176,065	176,065
顧客との契約から生じる収益	1,581,462	487,716	2,069,178
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,581,462	487,716	2,069,178
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,581,462	487,716	2,069,178
セグメント利益	235,173	143,746	378,919

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
一時点で移転される財	1,531,167	335,573	1,866,741
一定の期間にわたり移転される財	—	193,518	193,518
顧客との契約から生じる収益	1,531,167	529,092	2,060,259
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,531,167	529,092	2,060,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,531,167	529,092	2,060,259
セグメント利益	346,239	149,637	495,877

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	53,392千円	60,653千円